



JR KYUSHU IR DAY



E S Gの取り組み

～「あるべき姿」の実現に向けて～

2020年12月11日

九州旅客鉄道株式会社

取締役専務執行役員

古宮 洋二



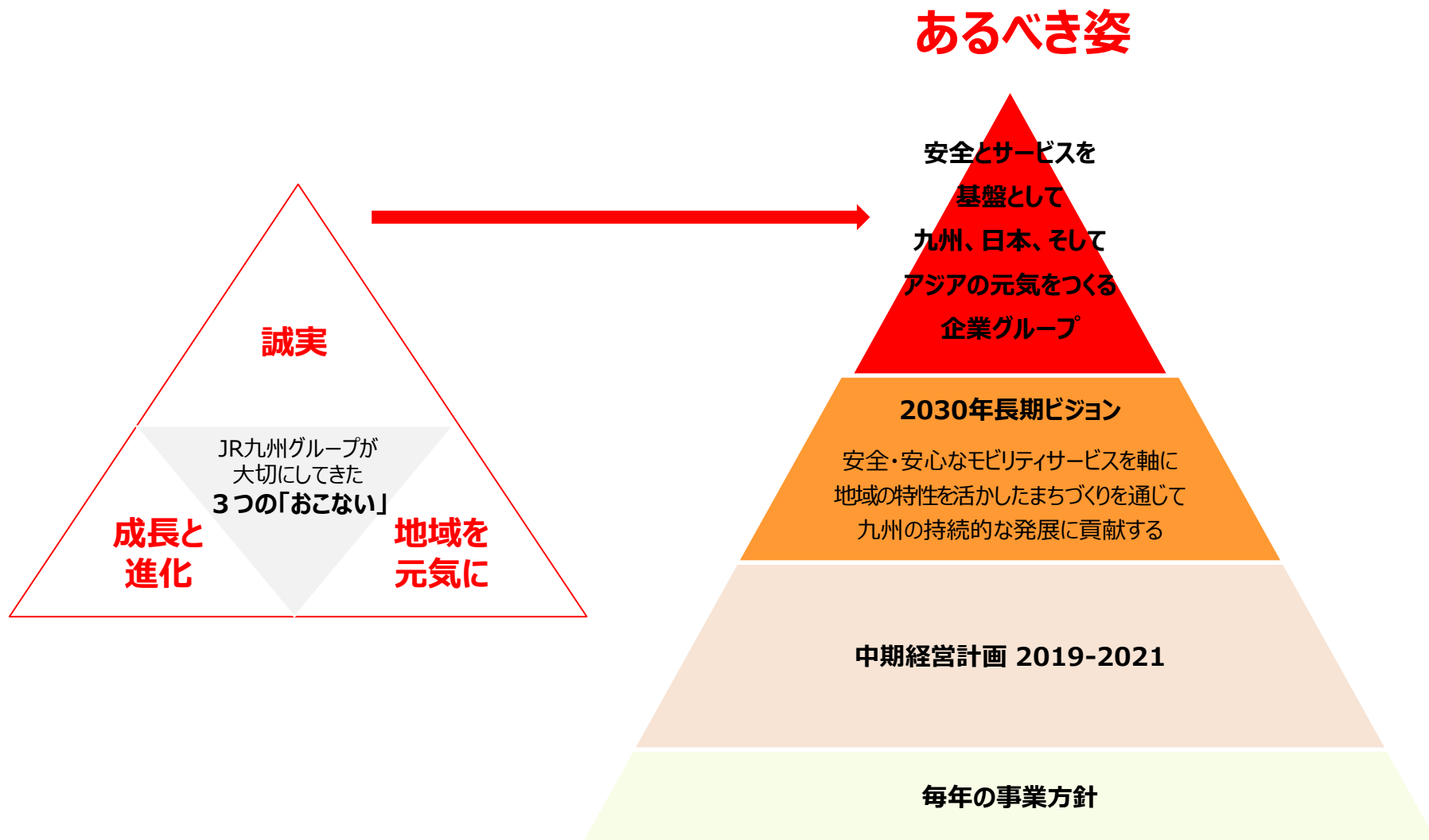


1 価値創造ストーリー	P3
2 価値創造の源泉	P7
3 健全な企業運営	P15
4 持続可能な社会の実現	P18

1 価値創造ストーリー



経営理念体系



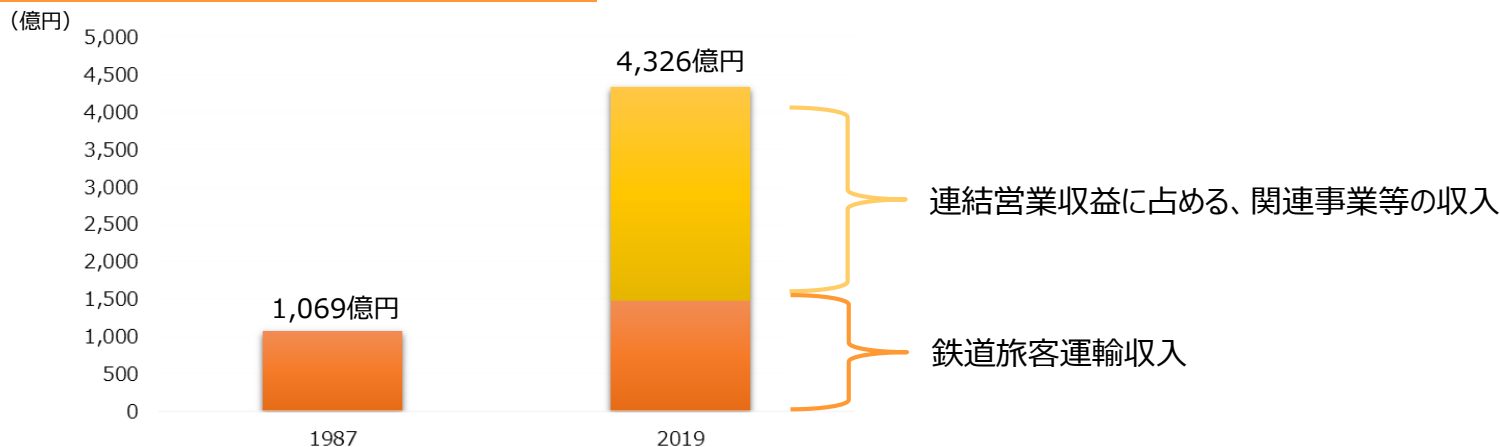
1 価値創造ストーリー



JR九州グループの沿革



JR九州グループの営業収益の推移



1 価値創造ストーリー

価値創造プロセス ～「あるべき姿」の実現に向けた道のり～

価値創造プロセス

～「あるべき姿」の実現に向けた道のり～

拠点地域の戦略的まちづくりを通して沿線人口を増やす
～住みたい・働きたい・訪れたい九州をつくる～

JR九州グループの強み

財務資本

- キャッシュフローの安定的な創出
- 高い財務健全性

営業キャッシュフロー 604億円
信用格付 AA-(R&G)

製造資本

- 九州全域に有する鉄道資産(駅、駅周辺施設)

駅数 568駅 営業キロ 2,273km

知的資本／人的資本／社会・関係資本

- 安全をつくり、サービスを高める社風
- 学ぶ風土、挑戦する気風
- 従業員のひらめきや気づきを経営に活かす取り組み
- 地域からの応援

従業員数 17,450人
経理職と社員の見学機会回数 24回/年
お客さま相談会開催数 20回/年

自然資本

- 九州の豊かな自然、食、文化、歴史

世界遺産登録数(九州・沖縄) 5件
選定「国産品」ランキング 1位 大分県※
※「平成30年度 温泉利用状況」より



あるべき姿

安全とサービスを基盤として九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ

2030年 長期ビジョン

安全・安心なモビリティサービスを軸に地域の特性を活かしたまちづくりを通じて九州の持続的な発展に貢献する

JR九州グループのおこい「誠実」「成長と進化」「地域を元気に」を通して事業を運営 = ESG経営

脅威

- 人口減少
- 少子高齢化
- 自然災害の頻発・激甚化

社会構造の変化

- 都市部における人口増加
- インバウンド需要
- 都市機能の向上

機会

1 価値創造ストーリー



マテリアリティ＝JR九州グループが常に考えるべきこと

健全な企業運営

- リスクマネジメントの強化・コンプライアンスの徹底
- 経営の透明性、公平性の確立
- ステークホルダーとのコミュニケーション充実

持続可能な社会の実現

- 環境問題への対応（気候変動・資源保護）
- 地域社会への貢献

価値創造の源泉

- 安全
- サービス
- 人づくり（人材活用・働きがい）

2 価値創造の源泉



すべての事業において変わることなく大切にすべきもの



安全

サービス

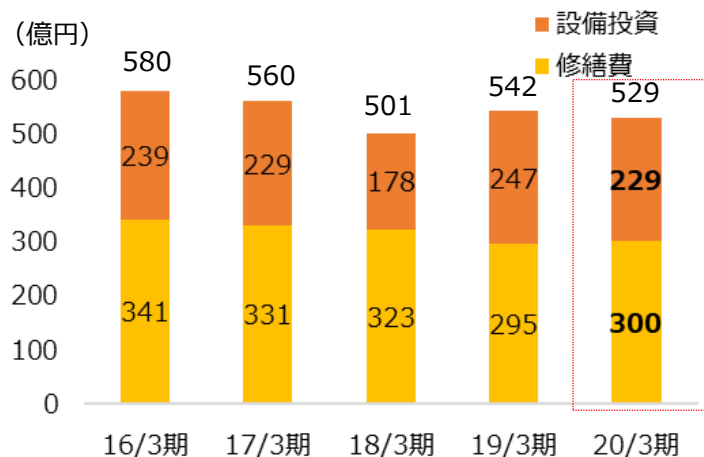
人づくり



2 価値創造の源泉 -安全-



安全投資の推移



- 老朽設備取替
 - ・新幹線運行管理システム老朽取替
 - ・軌道回路装置改良
- 保安・防災対策
 - ・ホームドア整備、長崎本線長崎駅付近高架化
- 安定輸送対策
 - ・木まくらぎT P C化、路盤改良
- 車両関係
 - ・YC1系車両新製、8 2 1系電車新製

防災対策

線路沿線の斜面については、集中豪雨・台風に対する防災強度の向上や経年劣化による落石・崩落等を防止するため、2020年3月期は29箇所の斜面对策工事を実施しました。



対策工事前

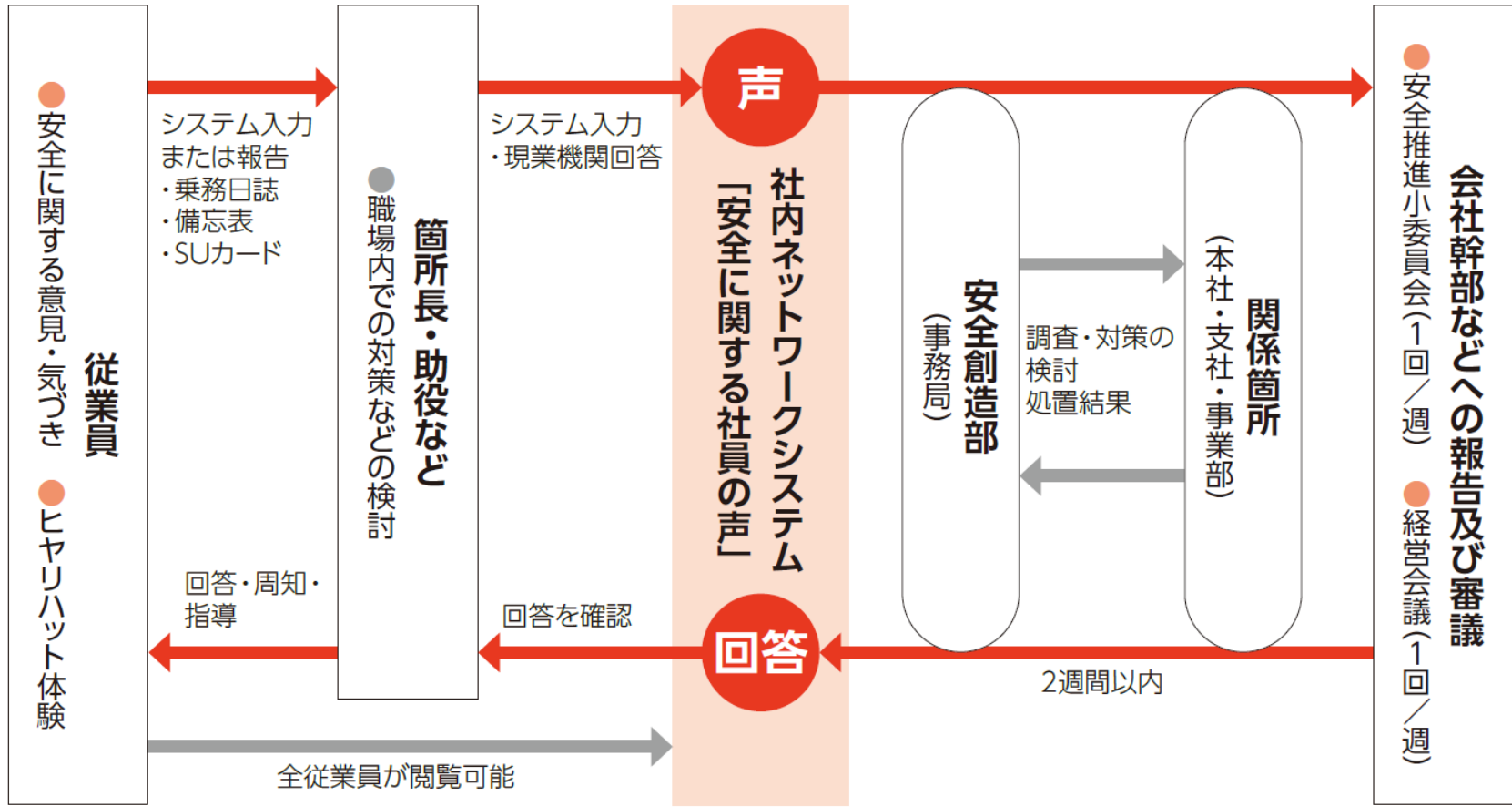


対策工事後

2 価値創造の源泉 -安全-



「安全に関する社員の声」のフロー



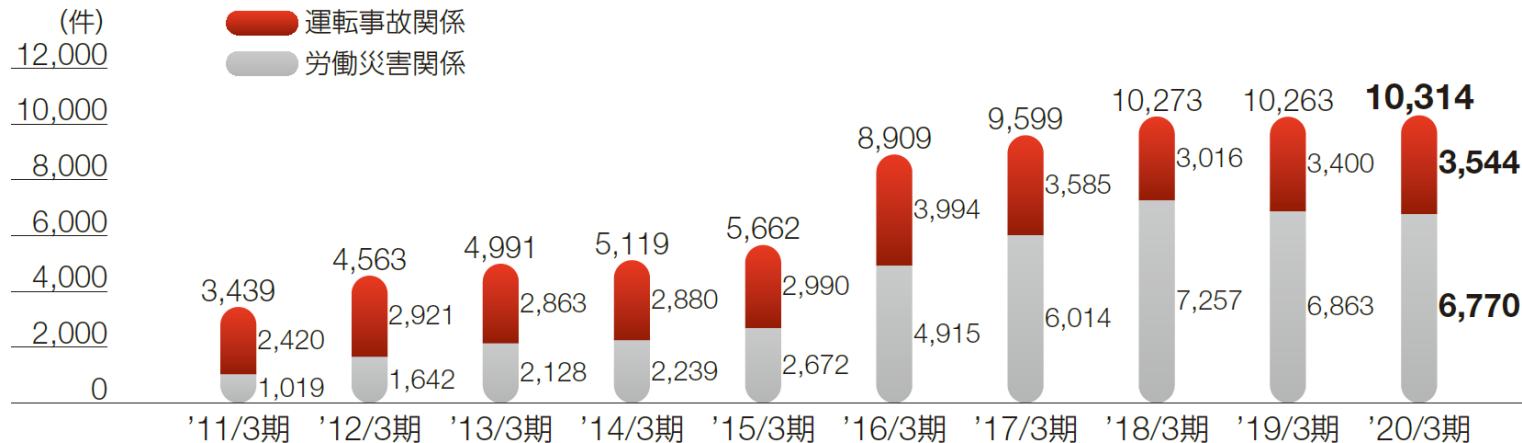
2 価値創造の源泉 -安全-



「安全に関する社員の声」に対する表彰制度

安全創造大賞	鋭い気づきや優れた意見の声を積極的に出し、安全創造運動の推進に貢献した職場や安全をつくるために顕著な功績をおさめた社員に対する表彰
安全創造賞	安全に関する高い問題意識がうかがわれ、安全に関して優れた意見等であると認められた声に対する表彰
ヒヤリハット推進賞	事故等の未然防止や安定した輸送の確保に大きく貢献した「意見・気づき」の声に対する表彰
ヒヤリハットオープン賞	自らのヒヤリハット体験を積極的に声に出すことで、事故等の未然防止や安定した輸送の安全確保、労働災害の防止に大きく貢献した声に対する表彰
想定ヒヤリ賞	想定ヒヤリの声で、安全性の向上や安定した輸送の確保に大きく貢献した声に対する表彰

「安全に関する社員の声」の件数の推移



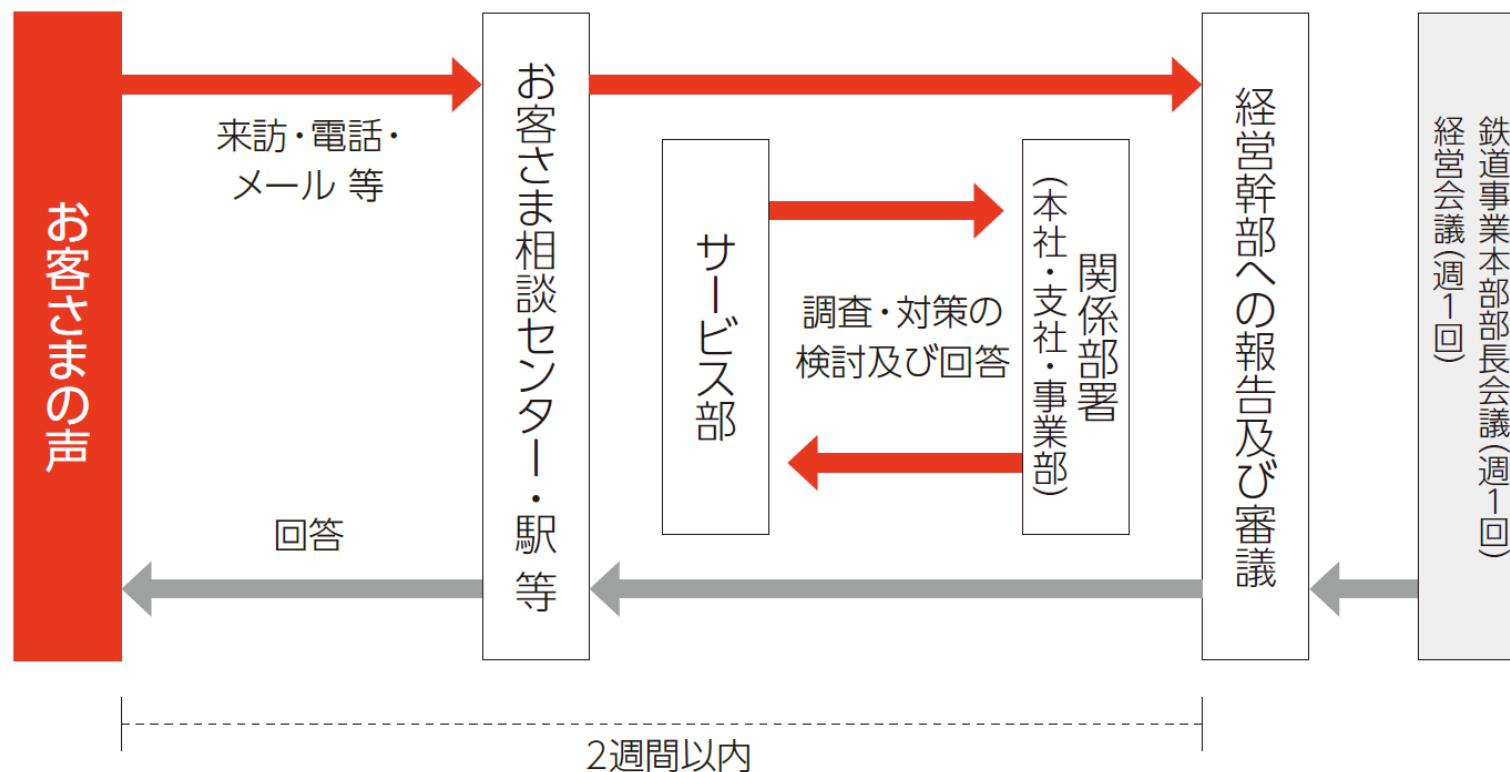
2 価値創造の源泉 -サービス-



「お客さまの声」のフロー

お褒め件数：1,675件（20.3期）

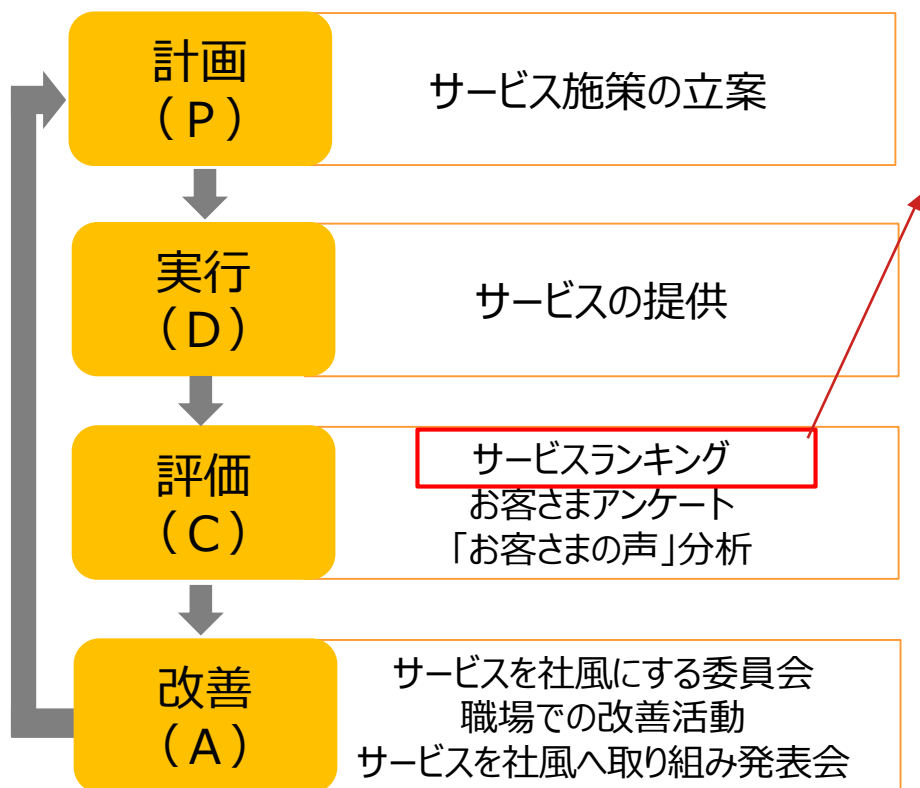
ご意見・ご要望件数：7,495件（20.3期）



2 価値創造の源泉 -サービス-



サービスのPDCAサイクル



サービスランキング

外部調査を活用して評価を行うサービスランキング
調査対象：「駅・旅行部門」、「乗務員部門」
調査頻度：年2回（原則）
調査内容：サービスに関する調査結果を数値化してランク付け



サービスランキングでは社外調査員が覆面で調査

2 価値創造の源泉 -人づくり-



若手社員の積極的な活用



2019年度にグループ会社となった(株)萬坊

JR九州グループにとっての挑戦



7周年を迎えた「ななつ星in九州」

未来創造プログラムHIRAMEKI



未来創造プログラムHIRAMEKI

様々なフィールドでの活躍

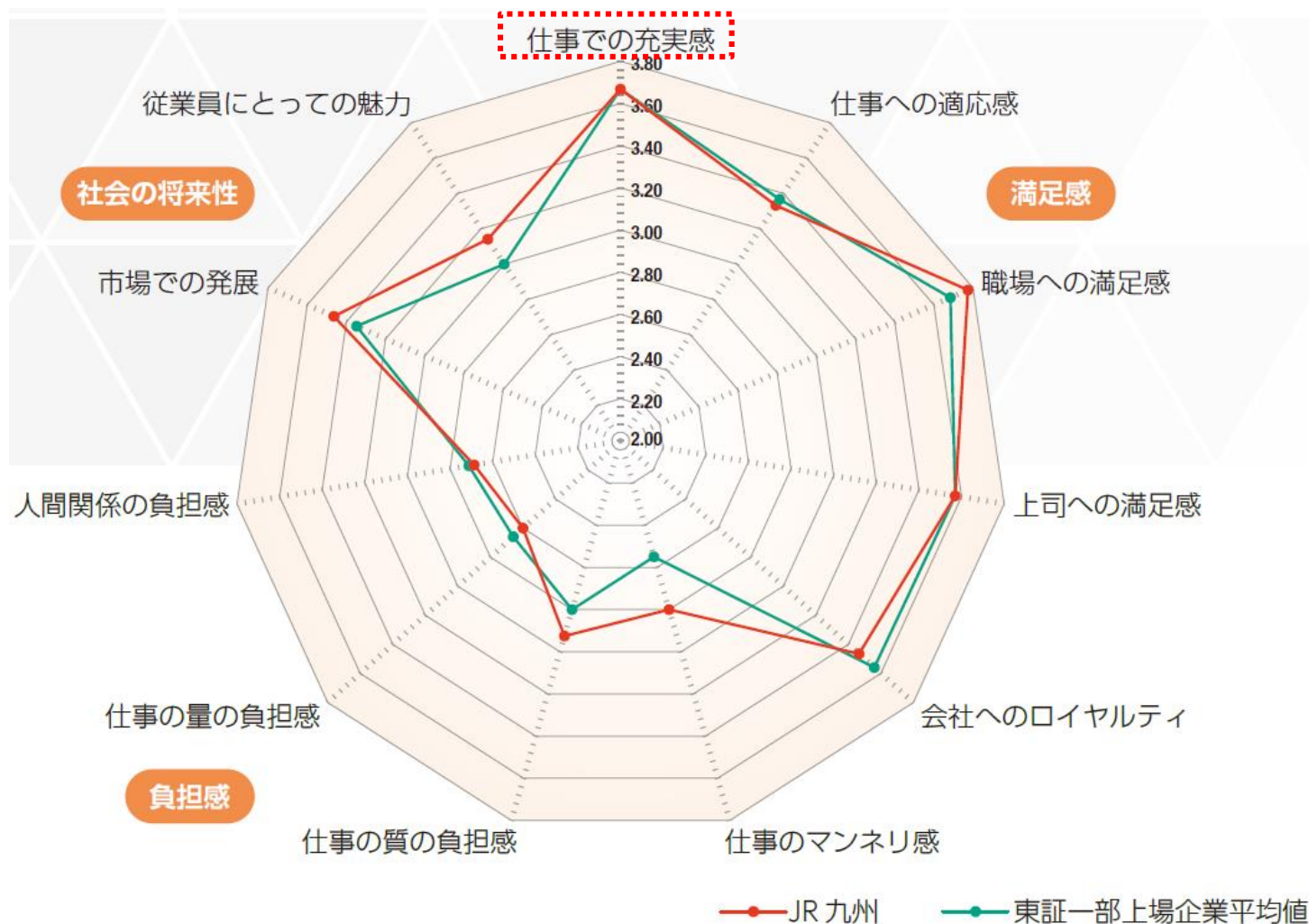


博多駅初の女性駅長

2 価値創造の源泉 -人づくり-



従業員意識調査（2020年3月期実施）



3 健全な企業運営 -経営の透明性、公平性の確立-



ガバナンス強化の取り組み

2019年3月期

- 監査等委員会設置会社に移行
- 機関設計の変更に併せて、執行役員制度を導入
- 取締役会実効性評価の第三者評価を導入
- 指名・報酬諮問委員会の設置（議長には社外取締役を任命）

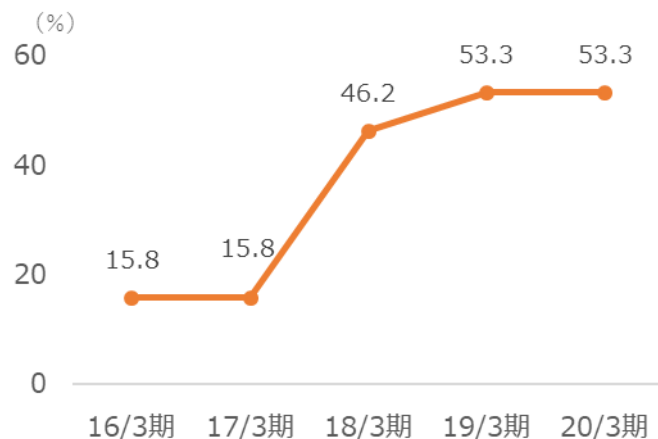
2020年3月期

- 最高財務責任者（C F O）の明確化
- 不動産、I R・財務に知見のある社外取締役2名を増員
- 社外取締役比率を53.3%（8/15）に引き上げ
- 業績連動型株式報酬制度「株式給付信託」の導入
- 取締役報酬額の改定
- セグメント経営の強化（駅ビル、ホテル事業のホールディングス化、セグメント区分の変更）

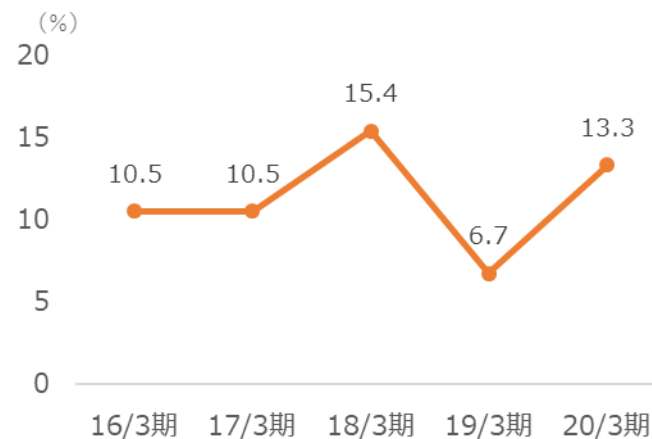
2021年3月期

- ダイバーシティの観点を踏まえ、ESG経営に知見がある女性の社外取締役を選任
- 取締役会のスキルセットを開示
- より実効的な運営を行うため、指名・報酬諮問委員会の人数を縮小

独立社外取締役比率



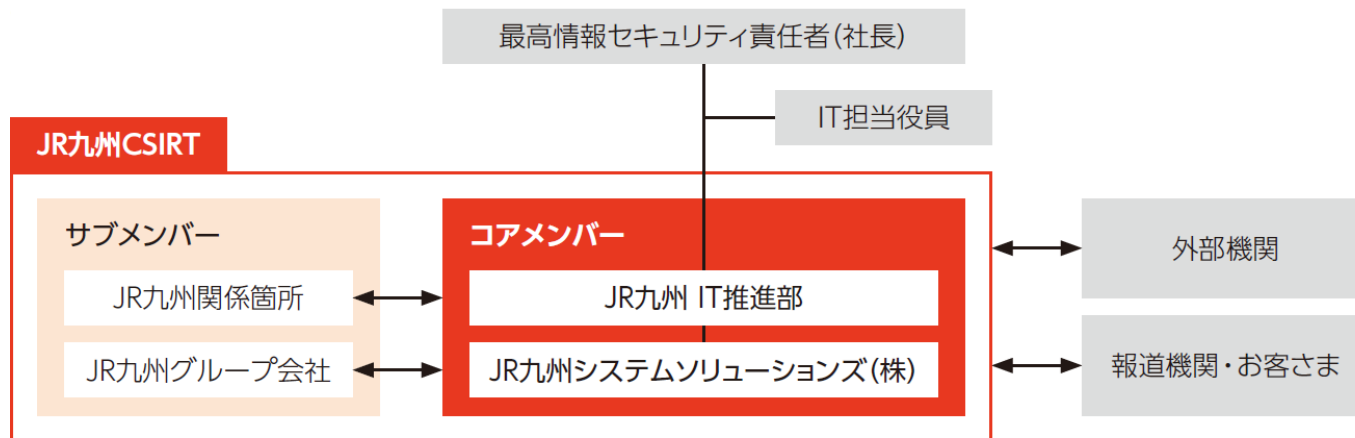
女性取締役比率の推移



3 健全な企業運営 -リスクマネジメントの強化-



情報セキュリティの強化のためのマネジメント体制



＜JR九州CSIRTの役割＞

- ・ インシデント受付窓口の明確化による早期の情報把握
- ・ インシデント発生時の迅速な対応・支援
- ・ 平時における情報収集・早期警戒、セキュリティ教育・訓練



インシデント対応訓練



脆弱性診断業務完了報告書

3 健全な企業運営 -ステークホルダーとのコミュニケーション充実-



お客さま懇談会の実施



懇談会開催回数 **20回**

経営陣と社員との意見交換会



意見交換会回数 **24回**

取引先の皆さまとの対話



アンケート調査 **205社**

株主・投資家との対話



経営者と機関投資家との対話 **108回**

経営者と個人投資家との対話 **7回**

4 持続可能な社会の実現 -気候変動問題への対応-



激甚化する自然災害

年度	2017	2018	2019
主な災害	・平成29年7月九州北部豪雨 ・平成29年台風第18号	平成30年7月豪雨	令和元年梅雨前線豪雨
損失額※	38億円	12億円	13億円

※特別損失に計上している「災害による損失」、「災害損失引当金繰入」の合計額

気候変動に関する情報開示

- ・ 環境省が主催する「令和2年度TCFDに沿った気候リスク・機会のシナリオ分析支援事業」に採択
- ・ 今後、TCFDに沿った情報開示を進める

CO2排出量削減のための取り組み

- ・ CO₂排出量削減目標設定を検討

<JR九州の現在の目標値>

鉄道部門において、2030年度までに

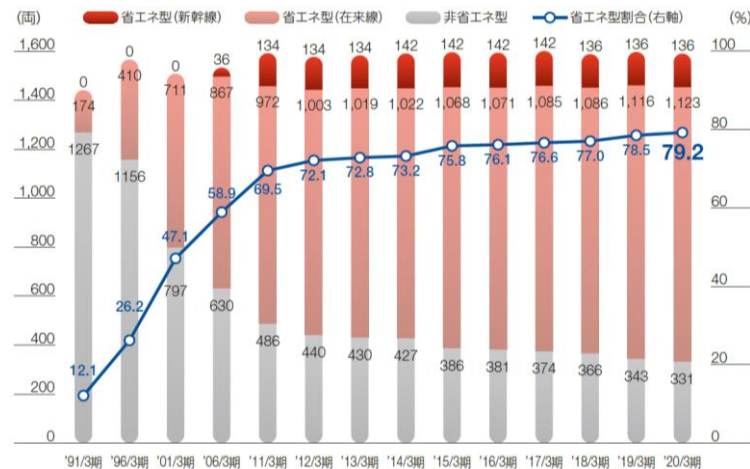
- ① 省エネ型車両の導入割合を83%にする
- ② エネルギー消費原単位を2011年度比2.5%削減する



821系：電力使用量
従来比△約70%



YC1系：燃料使用量
従来比△約20%



保有車両における省エネ型車両の比率

4 持続可能な社会の実現 -地域を元気に-

JR九州のD&S列車



JRKYUSHU SWEET TRAIN「或る列車」
for WEST JAPAN RAILWAY



特急「かわせみ やませみ」



特急「ゆふいんの森」



特急「あそぼーい！」



特急「A列車で行こう」



SL人吉



特急「指宿のたまて箱」



特急「九州横断特急」



いさぶろう・しんぺい



特急「はやとの風」



特急「海幸山幸」

4 持続可能な社会の実現 -地域を元気に-

36ぱらす3 ～九州のすべてが、ぎゅーっと詰まった“走る九州”といえる列車

“走る九州”① 九州の「食」「味」「体験」



- ・地域の食材を、手間ひまかけて丁寧に調理されたお食事をランチプラン、ディナープランで提供
- ・“走る九州”を体現する場として、九州各地のお酒や逸品をビュッフェで販売
- ・九州をより深く感じていただけるよう、車内で九州のお茶体験、梅体験などのイベントを実施

“走る九州”② 駅での楽しみ



- ・地域の雰囲気を楽しんでいただくために各ルートの途中に停車駅を設定
- ・停車駅では、地域の景観をお楽しみいただくほか、特色ある商品を販売
- ・地域の方による郷土芸能などのお出迎えを通じ、地域の文化・伝統をPR（不定期開催）

“走る九州”③ 35のエピソードと車内動画



- ・各日のルートについて、“色”を切り口にエピソードを収集し、WEBや車内で配布するリーフレットで紹介
- ・エピソードは沿線に限らず九州全域から収集し、お客さまの周遊旅への意欲を喚起
- ・車内ビュッフェで販売するお酒や停車駅の魅力をオリジナル動画で車内で上映

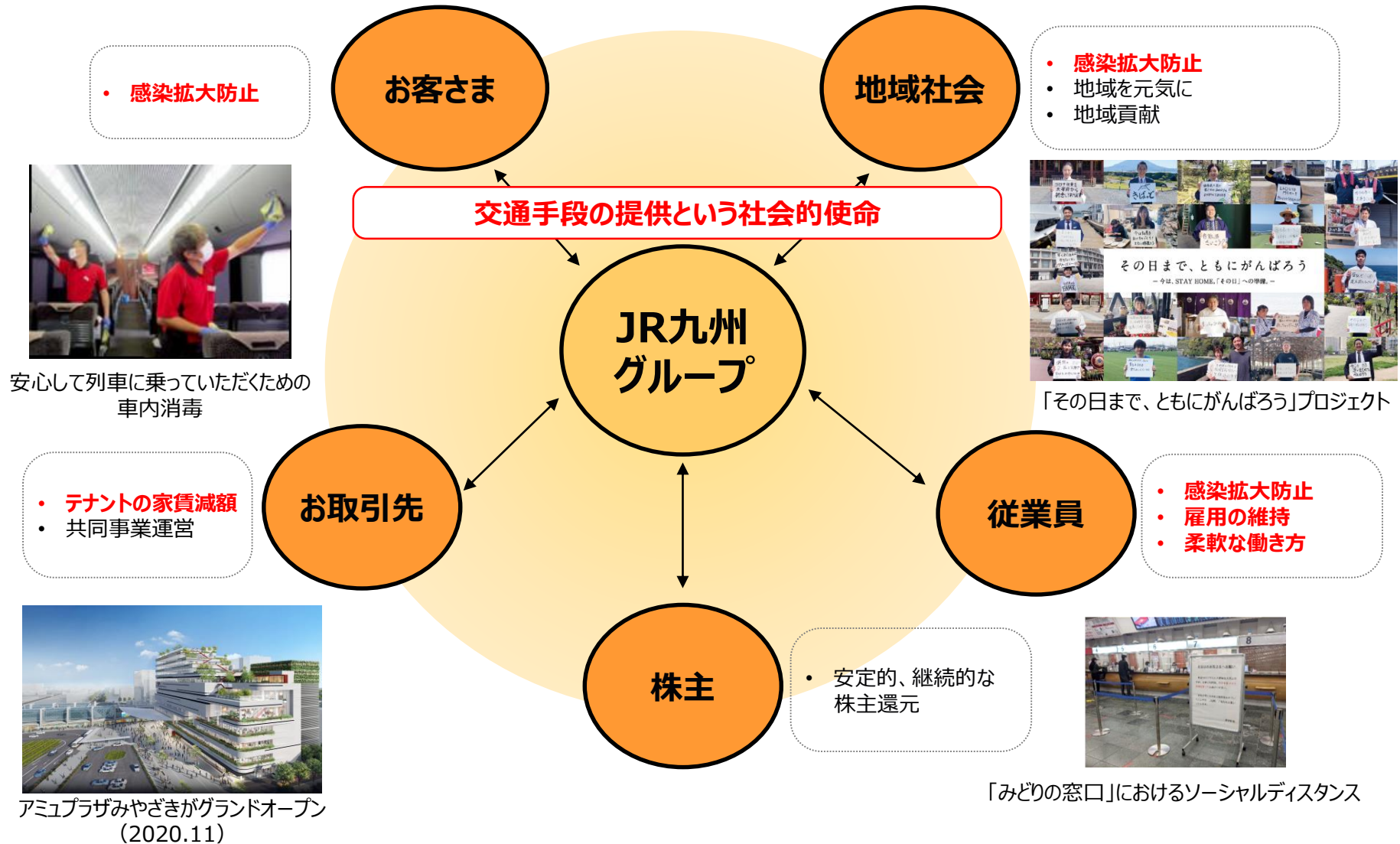


運行ルート



地域の方のおもてなし

4 持続可能な社会の実現 -コロナ禍における当社グループの取り組み-





ご清聴ありがとうございました



KYUSHU RAILWAY COMPANY

将来の見通しに関する記述について



本資料には、JR九州グループの見通し・目標等の将来に関する記述がなされています。

これらは、本資料の作成時点において入手可能な情報、予測や作成時点における仮定に基づいた当社の判断等によって記述されたものであります。そのため、今後、国内外及び九州の経済情勢、不動産市況、各プロジェクトの進捗、法令規制の変化、その他の幅広いリスク・要因の影響を受け、実際の経営成績等が本資料に記載された内容と大きく異なる可能性があることにご留意ください。

弊社IR関連資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR九州ホームページ

<http://www.jrkyushu.co.jp/company/ir/library/earnings/>